

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社（社名）－、 除外 1社（社名）株式会社サンストーン

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	3,843,100株	26年3月期	3,843,100株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	79株	26年3月期	79株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	3,843,021株	26年3月期1Q	3,843,045株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 施行件数の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景に企業業績の向上や雇用情勢の改善がみられるなど回復基調が見受けられました。一方で、エネルギーコストの上昇や消費税増税により、今後の国内景気は依然として不透明な状況であります。

当社グループの事業基盤となる福島県の経済は、東日本大震災の復興需要等により企業収益や個人消費に持ち直しの動きがみられるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が見受けられました。

このような環境下、当社グループでは、平成26年4月1日、経営資源の集約と組織の効率化を目的に子会社の再編を行いました。また知名度・ブランド力の向上のためにテレビ・ラジオコマーシャル等によるプロモーション活動を行いました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,069百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は194百万円（同31.2%減）、経常利益は252百万円（同14.6%減）となりました。また、特別利益として補助金収入379百万円並びに特別損失として固定資産圧縮損378百万円等を計上した結果、四半期純利益は249百万円（同46.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであり、売上高については、セグメント間の内部売上高または振替高を除き表示しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に基づき作成した数値で比較しております。

また、当社は、事業子会社の経営統括を主たる目的とする純粋持株会社であり、各連結子会社からの不動産賃貸料収入、経営管理料収入及び配当金を主たる収益としております。一方で、各セグメント（各連結子会社）の営業費用には、当社に対する不動産賃借料及び経営管理料が計上されております。

① 葬祭事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、死亡者数は微増傾向にあるものの、同業他社との競争は激化しており、また小規模葬儀の割合も依然として増加傾向にあります。

このような状況の下、組織再編により効率化を図るとともに、互助会等の新規会員獲得及び既存会員組織の活性化等、営業力を強化いたしました。また、葬儀施行後の法事・仏壇仏具等の販売及び互助会への再加入の勧誘といったアフターフォローの推進等、同業他社との差別化に取り組みました。その結果、売上高は1,217百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は45百万円（同43.2%増）となりました。

② 石材卸売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、石材小売店の受注動向に消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が見受けられました。

このような状況の下、高品質石種の提案、インド産の石材を取り入れ差別化を図る等営業活動に注力し受注増加に努めました。その結果、売上高は560百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は44百万円（同27.1%減）となりました。

③ 石材小売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動を受け、墓石等の新規建立の需要は低調に推移しました。

このような状況の下、耐震構造墓石の積極提案、「石のカンノ創業85周年記念感謝祭」等キャンペーンの実施により受注増加に努めました。その結果、売上高は352百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は8百万円（同63.1%減）となりました。

④ 婚礼事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、婚礼施行件数は減少しました。

このような状況の下、婚礼事業会社2社を統合し効率化を図るとともに、福島県郡山市の婚礼会場K I O K U N O M O R I（記憶の森）の全面建替えを行い開業いたしました。その結果、売上高は820百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は48百万円（同56.7%減）となりました。

⑤ 生花事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、生花需要は低調に推移しました。

このような状況の下、山形県山形市に新設した山形営業所での新規開拓、販売数量の増加及び仕入れコストの圧縮に注力いたしました。その結果、売上高は96百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は32百万円（同84.6%増）となりました。

⑥ 互助会事業

互助会事業につきましては、互助会代理店による会員募集活動の強化により、会員数の増加を図り、互助会を利用した葬儀及び婚礼施行の増加に努めました。その結果、売上高は2百万円（前年同期比14.0%減）、営業損失は21百万円（前年同期は営業利益7百万円）となりました。

⑦ 介護事業

介護事業につきましては、サービス付き高齢者向け住宅が稼働し、訪問介護・通所介護等のサービスを開始いたしました。その結果、売上高は3百万円（前年同期は売上高の計上はございません。）、営業損失は18百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

⑧ その他

その他の装販部門については高級棺等の販売に注力いたしました。その結果、売上高は15百万円（前年同期比9.3%増）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ271百万円減少し4,177百万円となりました。これは主に前払式特定取引前受金保全のための国債購入及び短期借入金の返済等により現金及び預金が増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ176百万円減少し18,232百万円となりました。これは主に互助会事業における前払式特定取引前受金保全のための国債購入により投資有価証券が増加した一方、固定資産圧縮損及び減価償却費計上による建物及び構築物の減少等によるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ351百万円減少し2,715百万円となりました。これは主に未払法人税等の支払、短期借入金の返済等によるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ273百万円減少し11,924百万円となりました。これは主に長期借入金の返済及び前払式特定取引前受金の減少によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ176百万円増加し7,769百万円となりました。これは主に配当金の支払いによる減少及び四半期純利益249百万円に伴う利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の「平成26年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、株式会社サンストーンは、株式会社郡山グランドホテルを存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。また、株式会社郡山グランドホテルは株式会社With Weddingに商号変更しております。

なお、特定子会社以外の子会社の異動については以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間において、株式会社川島は、当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,680,899	2,358,283
受取手形及び売掛金	860,794	911,992
有価証券	100,180	99,987
商品及び製品	435,764	399,368
仕掛品	33,823	42,325
原材料及び貯蔵品	32,404	32,516
その他	366,748	393,675
貸倒引当金	△61,686	△60,558
流動資産合計	4,448,928	4,177,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,760,648	7,267,082
土地	4,978,513	5,053,746
その他(純額)	263,068	274,781
有形固定資産合計	13,002,230	12,595,610
無形固定資産		
のれん	94,582	92,526
その他	44,351	42,934
無形固定資産合計	138,934	135,461
投資その他の資産		
投資有価証券	2,937,636	3,145,018
営業保証金	584,057	577,905
その他	1,821,190	1,853,354
貸倒引当金	△75,972	△75,296
投資その他の資産合計	5,266,911	5,500,981
固定資産合計	18,408,076	18,232,053
資産合計	22,857,004	22,409,643
負債の部		
流動負債		
買掛金	467,219	436,906
短期借入金	810,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	854,185	826,561
未払法人税等	93,907	39,281
賞与引当金	163,816	264,250
固定資産撤去費用引当金	16,234	7,734
その他	661,585	711,104
流動負債合計	3,066,947	2,715,837
固定負債		
長期借入金	3,440,750	3,240,634
前受金復活損失引当金	32,050	25,572
資産除去債務	195,414	196,356
負ののれん	142,520	139,422
前払式特定取引前受金	8,025,821	8,003,156
その他	361,292	319,628
固定負債合計	12,197,848	11,924,769
負債合計	15,264,796	14,640,607

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,658	500,658
資本剰余金	2,033,012	2,033,012
利益剰余金	4,955,402	5,147,017
自己株式	△73	△73
株主資本合計	7,489,000	7,680,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,560	19,116
為替換算調整勘定	87,646	69,303
その他の包括利益累計額合計	103,207	88,420
純資産合計	7,592,208	7,769,036
負債純資産合計	22,857,004	22,409,643

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
売上高	3,169,582	3,069,354
売上原価	2,110,654	2,076,127
売上総利益	1,058,928	993,227
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	11,683	3,834
給料及び賞与	261,550	289,834
賞与引当金繰入額	54,372	61,284
退職給付費用	9,369	10,093
その他	439,255	433,824
販売費及び一般管理費合計	776,231	798,870
営業利益	282,696	194,357
営業外収益		
受取利息	7,660	8,869
受取配当金	1,487	1,410
負ののれん償却額	3,098	3,098
掛金解約手数料	11,595	11,003
前受金月掛中断収入	1,974	17,716
その他	21,107	45,351
営業外収益合計	46,923	87,449
営業外費用		
支払利息	19,730	16,164
持分法による投資損失	3,127	4,958
前受金復活損失引当金繰入額	589	3,353
その他	9,862	4,342
営業外費用合計	33,308	28,818
経常利益	296,311	252,988
特別利益		
負ののれん発生益	209,115	—
補助金収入	—	379,419
その他	8,907	657
特別利益合計	218,022	380,076
特別損失		
固定資産除却損	14,489	420
固定資産圧縮損	—	378,375
特別損失合計	14,489	378,796
税金等調整前四半期純利益	499,844	254,268
法人税、住民税及び事業税	97,233	101,861
法人税等調整額	△58,750	△96,853
法人税等合計	38,482	5,007
少数株主損益調整前四半期純利益	461,361	249,260
四半期純利益	461,361	249,260

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	461,361	249,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,126	3,555
持分法適用会社に対する持分相当額	25,615	△18,343
その他の包括利益合計	23,488	△14,787
四半期包括利益	484,850	234,473
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	484,850	234,473
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	石材卸売 事業	石材小売 事業	婚礼事業	生花事業	互助会 事業	介護事業					
売上高												
外部顧客 への売上 高	1,222,540	584,712	353,421	900,965	90,452	2,542	-	3,154,634	14,176	3,168,810	771	3,169,582
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	2,374	108,053	1,616	52,052	93,914	103,498	-	361,510	17,198	378,708	△378,708	-
計	1,224,914	692,766	355,037	953,018	184,366	106,041	-	3,516,145	31,374	3,547,519	△377,937	3,169,582
セグメント 利益又は損 失(△)	31,515	61,320	22,639	112,550	17,869	7,390	△377	252,908	△1,183	251,724	30,971	282,696

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益437,671千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△400,000千円、セグメント間取引消去957千円、のれん償却額△1,935千円、その他の調整額が△5,721千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社郡山グランドホテルを完全子会社とする株式交換に伴い、婚礼事業及び互助会事業の資産の金額が著しく変動しております。前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、婚礼事業4,451,351千円、互助会事業3,198,479千円がそれぞれ増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社郡山グランドホテルを完全子会社とする株式交換に伴い、婚礼事業における負ののれん発生益209,115千円を特別利益に計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	石材卸売 事業	石材小売 事業	婚礼事業	生花事業	互助会 事業	介護事業	計				
売上高												
外部顧客 への売上 高	1,217,801	560,517	352,767	820,300	96,404	2,185	3,132	3,053,109	15,494	3,068,604	750	3,069,354
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	498	95,644	135	58,434	105,144	82,945	—	342,803	14,620	357,423	△357,423	—
計	1,218,299	656,162	352,903	878,735	201,548	85,130	3,132	3,395,913	30,115	3,426,028	△356,673	3,069,354
セグメント 利益又は損 失(△)	45,138	44,705	8,353	48,698	32,986	△21,896	△18,907	139,078	△1,314	137,763	56,593	194,357

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益370,542千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△312,000千円、セグメント間取引消去4,187千円、のれん償却額△1,655千円、その他の調整額が△4,482千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「介護事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 施行件数の状況

当社グループのセグメントのうち主な事業である葬祭事業及び婚礼事業に係る葬儀、婚礼施行件数の当第1四半期累計期間における状況は次のとおりであります。

(1) 葬祭事業

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
	葬儀施行件数 (件)
福島事業部	313
郡山事業部	55
会津事業部	103
催事事業部	488
合計	959

(注) 催事事業部における葬儀施行件数は、株式会社J Aライフクリエイティブ福島との業務受託契約による施行件数であります。

(2) 婚礼事業

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
	婚礼施行件数 (件)
福島地区	66
郡山地区	97
会津地区	23
合計	186

(注) 上記施行件数については、パーティー・宴会等の施行件数は含まれておりません。